

令和4年11月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,681	8,928	4,554	4,374	17	17
2 千 石	3,937	6,709	3,414	3,295	14	3
3 内 山	5,655	7,905	4,224	3,681	17	5
4 大 和	3,548	6,703	3,308	3,395	7	13
5 上 野	7,413	15,419	7,549	7,870	△ 5	3
6 高 見	7,289	13,173	6,295	6,878	5	0
7 春 岡	6,947	10,938	5,762	5,176	40	47
8 田 代	11,321	21,851	10,445	11,406	22	40
9 東 山	10,305	19,188	9,371	9,817	△ 1	4
10 見 付	4,607	8,552	4,277	4,275	29	39
11 星 ケ 丘	3,540	6,837	3,039	3,798	1	△ 4
12 自 由 ケ 丘	3,556	7,255	3,296	3,959	0	△ 14
13 富 士 見 台	6,498	15,210	6,931	8,279	△ 3	△ 4
14 宮 根	3,821	8,096	3,759	4,337	7	△ 9
15 千 代 田 橋	3,727	8,315	3,917	4,398	2	6
千 種 区 計	87,845	165,079	80,141	84,938	152	146
R3.11.1	86,965	164,903	80,066	84,837	40	△ 4
対 前 年 比	880	176	75	101	112	150
名 古 屋 市	1,144,052	2,326,461	1,142,222	1,184,239	933	683
愛 知 県 (R4.10.1)	3,293,208	7,497,521	3,734,414	3,763,107	468	△ 2,836

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	93	112	△ 19	1,051	886	165

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598(昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727(平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区の人口密度の概況

今回は令和4年10月1日現在の各区と千種区の各学区の人口密度を他区と比較しながらみていきます。

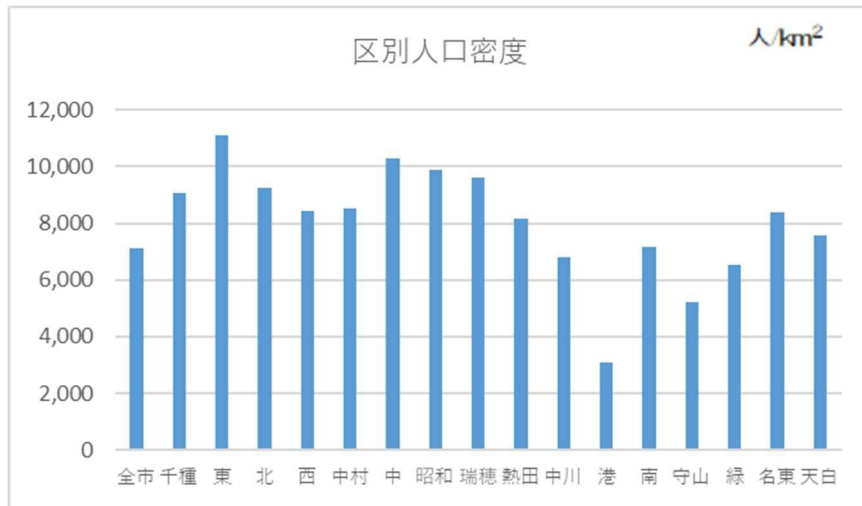


図 1:区別人口密度 (令和4年10月1日現在)

令和4年10月1日現在の区別人口密度を見てみると(図1)、東区が11,117人/km²と最も高く、中区10,277人/km²、昭和区9,884人/km²、瑞穂区9,600人/km²、北区9,231人/km²と続き、千種区は9,072人/km²で6番目でした。

人口密度が低いほうから見てみると、港区が3,097人/km²で最も低く、守山区5,211人/km²、緑区6,551人/km²と続きます。全体的に見てみると、名古屋市の中心部は人口密度が高く、郊外は低い傾向が見られます。

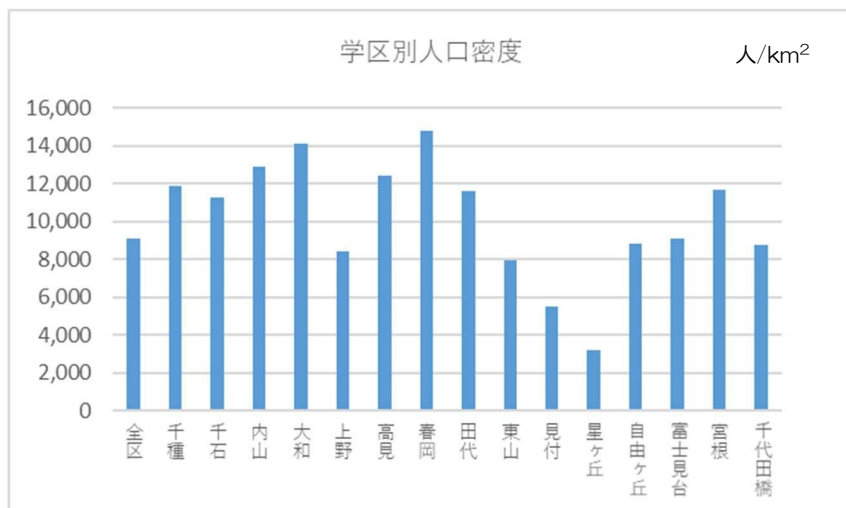


図 2: 千種区の学区別人口密度(令和4年10月1日現在)

続いて、千種区の人口密度を見ていきます。

令和4年10月1日現在の千種区の学区別人口密度が高い順に春岡(14,818人/km²)、大和(14,114人/km²)、内山(12,908人/km²)、高見(12,439人/km²)、宮根(11,645人/km²)の順となっています。

人口密度が低いほうから見てみると星ヶ丘(3,204人/km²)、見付(5,485人/km²)、東山(7,957人/km²)、上野(8,419人/km²)、千代田橋(8,783人/km²)の順となっています。

区の西側の学区が高いのに対して、東山公園や名古屋大学を含む星ヶ丘学区や見付学区が低くなっているのが分かります。